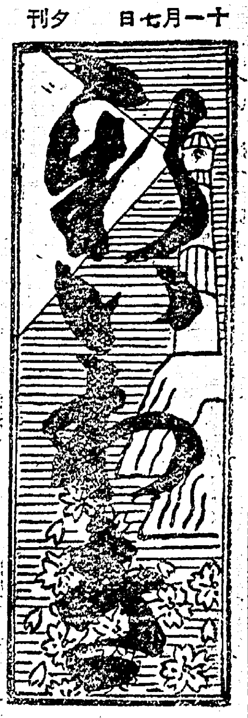
十一月七日 夕刊



日刊（但シ日曜祭日翌日休刊）一ヶ月金廿五錢 郵稅十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 二十錢增
發行兼編輯印刷人 半谷政宗
發行所 福島縣平市大町二三 新いわき新聞社

國道六號線の交通量

激增せる植田、錦間

第一位は矢張り平、湯本間 次は四倉町と植田町

平土木監督所では最近三日間に亘り管內主要路上の交通量を取つた其の結果に於て國道第六號線の中最も交通頻繁なる平市と湯本間（調査位置內鄉村役場前）の同量が一日の平均二千八百に上るものゝ如きは既報したる通り

歩行者八二三 牛馬二 自轉車一三〇一 荷車一九六 牛馬車六〇 自動自轉車七一 自動車（乘）二四四 同（貨）一五八 計二八五五

で勿來、久の濱間では斷然第一位を占めてゐる是れに次ぐものは四倉町（同町四倉驛入口が調査位置）と錦村に昭和人絹工場が出來てから急激に交通量を增したる植田町と同地の間（調査位置錦村役場前）で此の交通種別を上ぐれば

四倉町歩行者二〇八〇 自轉車五九五 荷車二九 牛馬車三五 自動自轉車九 自動車（乘）三九 同（貨）六一 計二八三八

植田町歩行者一二八〇 牛馬一 自轉車一二七三 荷車七一 牛馬車二〇 自動自轉車一五 自動車（乘）五六 同（貨）一一四 計二八三〇

を示し兩者の比較に歩行者が格段に多い四倉とトラックの往復が繁しい植田との差が著しく目立つて見える、國道に於て此の次位にあるものは神谷村の縣農試分場前を調査位置としたる

歩行者六六九 牛馬四 自轉車九五〇 荷車一八二 牛馬車二八 自動自轉車一八 自動車（乘）九〇 同（貨）四三 計一九八四

また縣道では平市內舊平窪役場前で取つた小野新町平線と飯野村役場前に於て調査せる平市から江名に至るもの及び鹿島村役場前を調査位置としたる平、小名濱線が共に二千を超え此の交通種別は次の如くである

平窪歩行者一二三〇 牛馬六 人力一 自轉車八六七 荷車二三二 牛馬車二一 自動自轉車一七 自動車（乘）七七 同（貨）一一三 計二五六四

飯野村歩行四〇七 牛馬一 自轉車三二九 荷車一三四 牛馬車三一 自動自轉車一二 自動車（乘）六三 同（貨）二九 計一〇〇六

鹿島村歩行者九〇七 牛馬八 自轉車一八二 牛馬八 自動自轉車第 自動車（乘）三四 同（貨）一四 計一一六三以上（飯野、鹿島の兩者を合せ平市月見町通りの交通量とせば二一六三）

平市內主要路上の交通量は九九七二

一丁目關彰油店前で取つた

最近三日間の一日平均

平市を中心とする土木監督所の調査に係る交通量は別項所報の如く本縣下第一と云はれる國道六號線の舖裝に益々その必至性を肯かしめられるところであるがこれで今回の調査量はガソリン統制の影響で自動車の交通を約二割方減少せるものと見られてゐる尚ほ平市內に於ける主要路の交通量（調査位置一、二丁目間の關彰油店前）は左記を示してゐる

歩行者四六一四 牛馬一 人力車六 自轉車四二二三 荷車二五二 牛馬車七一 自動自轉車一〇二 自動車（乘）五〇〇 同（貨）二一三 計九九七二（以上）

兄弟二人の家

軍人で無人

石城郡高久村の高久農園井重三郎君（三二）は幼少の折兩親に死別した後を兄弟二人で家業を營んでゐた實兄平三郎上等兵が今次事變に南支で活躍されてゐる留守宅に銃後の護を蕊してゐたが徵兵檢査に甲種合格を得たので村役場では同君が入營せば全然無人になるため其の後を心配してゐたところ此の非常時に家事などは小さいものだと銃外徵集願を福島聯隊區に提出明春晴れて入營する赤誠に村當局を初め部落民一同が感激に打たれ同家の後一切を村民の奉仕作業で固く護ることを誓はれてゐる

常識講座

ツー・クリーは一句または二旬から成る電文でもつて發報することだ、新聞その他の通信員が本社の指揮を求めまたは次期の通報の程度を通知する爲めに行はれるものである、

平署管下の地震被害

二萬四千六百七十圓

家屋の全潰及び半潰十七戸 一部損傷は一四四九戸

去る五日各家庭における夕餉の團欒時を驚かした石城地方會てない强震は江名濱方面が殊に甚しかつたらしく路面の地割れ山斜の崩潰並に同地小學校庭の地割及び家屋の倒壊せるもの住家二、非住家一の全壊と同半壊一を出だし隣接の豐間村でも同様非住一、全壊同、半壊四、湯本町では住家二、非住家六の半壊があり此の外家屋の一部損傷では平市の五五〇（住家）三五（非住）を筆頭に平署管內に於て一四四九戸、損害二四六七〇圓その他田畑被害四一〇〇圓、山林の崩壊損害三七三二圓等々の災害が三萬二千五百二圓に上つてゐるが餘震は今七日に及ぶも頻々として起り人心を極度に怯えらしめてる を感激させてゐる

戰地の勇士から

戰友の弔慰金

石城郡赤井村の西小川出身平澤正男上等兵は目下北支方面に於て活躍されてゐるが同鄉出身の戰友吉田、鈴木兩勇士が昨年上海戰線で戰死されたのに對し冥福を祈るため此の程村役場宛兩遺族に各三圓づゝの弔慰料を贈つたので村民

御眞影奉遷

强震の江名 小學校庭龜裂

石城郡江名町では去る五日の强震で小學校庭が地割れを生じ同龜裂が奉安庫敷地に及んだので午後八時三十分駐在巡査の護衛を以て御眞影を村社諏訪神社に奉遷した

水道被害なし

舊城跡は地震で

强震の都度慘害を受ける平水道では今回の地震で市內配水管を殆んど全般的に接續點を損傷調査と復舊に目を廻してゐるが今七日までに判明したるもの實に二百七十ケ所に及びこれが復舊には少なくも二ケ月餘この損害工費二千五百圓と見られてゐるが舊城跡のみは水道被害が殆んど皆無であると

【戰地の便】戰地同様銃後の御勞苦を深謝す

平市上平窪出身 金古義弘

其の後は意外の御無音に打過ぎ申譯ありません、皆々樣には多事多端なる御業務の中に殊に戰時下の御繁忙と銃後に於ける御活動を御察し申上げ吾れ等戰地にあるものと同じき御勞苦に對し益々御精勵の段心から深く〳〵御禮申上げます、降て小生事皆々樣の御蔭を以て至極元氣にて毎日多忙なる任務に奮鬪努力いたし居りますから他事ながら御安心下さるやう御願ひ申上げます、お互時局重大下に働かねばならぬ体ことに大切な銃後の務めに當られる皆々樣の御健康を御祈り申上げます、御奮鬪を感謝し近狀御知らせまでに亂筆早々

塩屋崎燈台の繪葉書

平市出身 蛭田浩

前文、省略御尊堂皆々樣には益々御健勝の段大慶に存じます、銃後何かと御多忙のことゝ御察し申上げます小生も其の後引續いて身に異常なく軍務に服し居りますから御安心下さい、皆々樣の銃後の御骨折り誠に一方ならざるものならんと感謝いたし居ります、本日は御丁寧なる御見舞狀を下され厚く御禮申上げます、端書にて凉氣横溢の塩屋崎燈台を思ひ出されました、支那には燈台はこれなく唯古代の塔が建つて居ります先づは御禮まで早々 敬具

慰問金で祈願祭

石城郡赤井村の三島田久登秋氏は仲信夫君の出征に對して縣から贈られた慰問金を皇軍戰勝並に武運長久祈願祭費となし同村の鄉社諏訪神社に於て執行神符を同村の出征遺家族に贈つた

商店法の説明（二）

附錄 商店法（昭和十三年三月二十六日法律第二十八號）

福島縣警察部

第一條、本法ハ市及主務大臣ノ指定スル町村（町村ニ準ズベキモノヲ含ム）ニ於テ物品販賣店又ハ理容業ヲ營ム店舖ニ之ヲ適用ス、前項ノ物品販賣業及理容業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム、

第二條、店主ハ本法ニ定ムル閉店時刻以後客ニ對シ前條ノ營業ヲ爲スコトヲ得ズ但シ閉店時刻前ヨリ引續キ店舖ニ在ル顧客ニ對シテハ此ノ限リニ在ラズ、

店主ハ閉店時刻ト雖モ負傷疾病、災害其ノ他緊急ノ事由ヲ提示セル顧客ニ對シ其ノ必要ニ應ズル物品ヲ販賣スルコトヲ得、

第三條、閉店時刻ハ午後十時トス、

行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地域ヲ限リ前項ノ時刻ヲ午後十一時迄繰延ブルコトヲ得、

第四條、業務ノ繁忙ナル時期ニ付行政官廳必要アリト認ムルトキハ期間又ハ地域ヲ限リ一年ヲ通ジ六十日以內前二條ノ規定ヲ適用セズ又ハ前條ノ時刻ヲ繰延ブルコトヲ得、

前項ノ外行政官廳臨時必要アリト認ムルトキハ期間又ハ地域ヲ限リ前二條ノ規定ヲ適用セズ又ハ前條ノ時刻ヲ繰延ブルコトヲ得、

第五條、店主ハ使用人ニ毎月少クトモ一回ノ休日ヲ與フベシ、

燈台地震被害

石城郡豐間村の鹽屋岬燈台は今回の强震で破損を來たし目下細部に亘る調査並に修理中であるが執務可能までには茲一兩日を要する模樣である

磐崎忠魂碑倒壊

石城郡磐崎村では去る五日の地震のため忠魂碑を倒壊さる

第二區の校長會

石城郡教育部會第二區方部小學校長會は去四日小名濱小學校に於て開かれた

山林崩壊

石城郡內鄉村の宮字竹の內地內杉立毛山林二反歩が今回の地震で崩壊し下方の野菜畑九畝歩を埋沒人畜に死傷なかつたが損害約一千圓

横濱高工生見學

横濱高等工業校三年生四十二名は去る五日午後一時半泉驛着で小名濱町日本水素工場を見學小瀧鑛泉旅館泊◦翌六日歸校した

自治聯合會總會

石城郡北部五ケ村の自治聯合會第二回總會は明後九日夏井川の溪谷牛小川地內に於て開催すると

農業の

榮養食の 効目滿點(一)

先進地に於ける一年の成績纏まる

農山漁村民の体位向上は産業振興の根本問題の一つとして農林省、厚生省、内務省の三省が新らしく研究を進めつゝありて明年度から新規の豫算も要求され榮養指導に積極的に乘り出すことになつてゐる、然して此問題は現在すべてに民間にありてもそれ〳〵實施中のところがあり、なかにも千葉縣當局では印幡郡布鎌村の請方區及び安房郡主基村の下小原區の二ケ所で過去一ケ年にわたり玉木醫學博士、森川、佐俣兩氏などが主任となつて指導したる結果非常な成績をあげて全國から注目されてゐるが其の成績の内容は、

(1)榮養改善の實地指導によりて身長、体重、胸圍その他發育上對照村に比すれば著しい增加を示し格段に体位の向上せられたる實績を見たるのみならず老人にありても榮養村に於ては体位の低下せるを認められずと云ふのである、

(2)榮養と密接な關係にある疾病の如きは全然治癒せるもの若くは症狀の消退せるを認めまた期間中に於て罹病者を認めなかつた、尙ほ醫業費の如きは激減せることである、

(3)農村の弊風であるところの米、麥の大食が矯正せられ食費の減額を示したと云はれてゐる、

次ぎに此の指導要點と成績の詳細について述べて見よう、

強震御見舞

昨五日夕刻突如襲つた強震は御地も定めしひどかつた事と存じます。

御被害はありませんでしたか御伺いたします、弊工場は御蔭樣でさしたるここも無く一同無事平常通り作業致して居りますから御安神下さい

昭和十三年十一月六日

片倉磐城製絲株式會社

特約組合員各位

㊐肥料は……今すぐに……

從來當所が斡旋致して居ります㊐肥料の効果に就ては需要者各位から絶讃を博して參りましたが**時局柄原料の關係上次期からは**從來通り成分配合肥料を**斡旋申上げることが出來ない**こも限りません**今直ぐ、春肥の、御注文**を急ぎ御すゝめいたします。

十一月廿日迄は前値通り左記により御注文を御受けします

値段表

◎**特一號**(一叺)**四圓九〇錢**桑、稻、麥其他何レニモヨシ

桑一號(同)**四圓六〇錢**良繭多收ニ特ニ良シ

燐酸加里(同)**三圓五〇錢**健實用トシテ無類

磐城代表銘酒

美味經濟

ヤマワル醬油

山崎合名會社

電話十番

食事。喫茶。酒場を兼ねた。

レストラン

サロン

平田町

電三五二

洋服店

良品廉價

鐵筆屋

磐城平田五五番電話

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平市田町　電話五一三番

高久病院

院長　醫學士　高久忠

病室增築、手術室完備

産科　醫學博士
婦人科　五十嵐雄二

平市新川町「電話三六九番」

平病院

(平市元共濟病院跡)
(電話六四一番)

院主　院長　醫學博士　鈴木定藏

内科　部長　鈴木定藏
小兒科　部長　佐藤幾要司
内臟外科　外科一般　皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科　物理的療法科　部長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平

診療時間……毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す(急患は此の限にあらず)

根本産婦人科醫院

平市南町

根本莊次郎
根本貞雄

(入院隨時)　電話三四番